



家の近所で”

総務部

宮本 由美
MIYAMOTO YUMI

● こんにちは。総務部の宮本です。

先日、近所を歩いている時、

「人見知りです。接客はしません。接客をしなくて、ごめんなさい。」

いきなり、こんな貼り紙が目飛び込んできました。小さな店のガラス戸に貼られた貼り紙です。

今まで全く気がつきませんでした。こぢんまりとした店と店の間にあって、ガラス戸が締め切れ、少々薄暗いため、今まで気がつかなかったと思われます。

小売店なのに、接客をしない宣言をするとは!

しかも、それでやっていけているとは。品揃えに自信があり、接客をしなくても、そこそこの売上がキープできているのか? それとも、金持ちが道楽でやっている店なのか? とくに買う気はないものの、何か気になるので、今度通ったら店に入ってみようか…。いやいや、本当に用のある人しか入らないだろうから、店に入ったが最後、何か買わなくてはいけないような気になってしまうかも…。でも、貼り紙から受ける印象では、奥ゆかしい店のような…。

気がつくと、家に着いていました。

● いや～、慣れた道でも、まだまだ発見があるのが面白いですね。

編集後記

明けましておめでとうございます。

新年にあたり、平素よりご指導、ご協力を賜っております、環境省、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団、(公社)全国産業廃棄物連合会に、年頭のご挨拶をいただきました。

事業報告は、「日本・韓国・台湾ネットワーク会議」の概要を掲載しました。本会議は4回目を迎え、電子マニフェスト情報の活用やリサイクルに係る共通の課題について討議されました。

コラムは長野都市ガス(株)の塩入様に、連載講義は前国際連合地域開発センターの小野川様に、ご執筆いただきました。両氏には1年間に亘り寄稿いただき、御礼申し上げます。

「産廃クローズアップ」は、森永乳業(株)にお伺いし、廃棄物の削減と環境負荷低減の取組について取材させていただきました。低炭素社会の実現に向けて、食品廃棄物の削減や様々な再生可能エネルギーを活用したCO₂の排出抑制など、環境保全の取組を積極的に実施されています。

「行政のうごき」は、倉敷市に「倉敷市第六次総合計画」に基づいた、リサイクル及び適正処理の推進に向けた取組について、また、電子マニフェストの「ユーザ事例紹介」は、(株)クレハ環境に、電子マニフェストの運用方法と導入によるメリットについてご執筆いただきました。

本号の発行に際し、ご協力を賜りました皆様方に心より御礼申し上げます。

本年も産業廃棄物の適正処理に関わる情報を発信して参りますので、引き続きご愛読いただければ幸いです。
(大熊)

本誌に関する連絡先：総務部広報室 e-mail:jigyo@jwnet.or.jp

【アンケートへのご協力のお願い】

より充実した誌面作りのために、本誌の記事内容等に関する読者アンケートを当センターホームページ（以下のURL）に掲載しています。本誌に関するご意見・ご要望を是非、お聞かせください。

URL <http://www.jwnet.or.jp/publish/kikansi/index.html>

日廃振センター情報(季刊) VOL.16 NO.4 発行日：平成29年1月15日発行 発行人：岡澤和好
発行所：公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター

〒102-0084 東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階
TEL：03-5275-7111 FAX：03-5275-7112 <http://www.jwnet.or.jp/>
デザイン・印刷 株式会社ぎょうせい